

大学名：金沢大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
<p>学校のユネスコスクール加盟を支援します。</p>	<p>1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。</p>	<p>昨年度、北陸地区では新たにユネスコスクール加盟を希望する学校からの問合せ等はなかった。</p>
	<p>2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。</p>	<p>チャレンジ期間実施校に対し、授業等の参観、実践へのアドバイス、教員研修、報告書作成へのアドバイス等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南砺市立平中学校（富山県）、石川県立大聖寺実業高等学校、国際高等専門学校（石川県）の3校がチャレンジ期間を終了し、報告書を提出した。
	<p>3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。</p>	<p>主に北陸三県のユネスコスクールに対し、実践改善支援、教員等研修、実践交流支援、成果広報の機会作り等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度ユネスコ活動費補助金による「北陸におけるSDGs達成に向けたeラーニング教材開発及びコミュニティ作りによる教員等の専門能力開発」事業により、ESDを実践する教育委員会や学校教員を対象に、実践編・教育経営編のオンライン教材を開発・活用し、研修機会の創出、主体的に研修できるシステムを構築している。オンラインと対面を組み合わせることで教員、学生、研究者、地域関係者等がともに学び合うコミュニティを形成することを目指して、取り組みを継続している。 <p>取り組みはWebにて、継続発信している。https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</p>
<p>大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。</p>	<p>1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せに応じて、これまで関わった実践についての資料提供、製作したテキスト、実践事例集等の配布を行っている。 ・講習、講座講師の要請に対し、北陸ESDコンソーシアム・コーディネーターを中心として関係する専門に関わる人材の紹介・仲介を行った。 ・要請に応じ、ワークショップ型研修等を行った。（オンライン・対面型いずれも）
	<p>2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸三県それぞれでの実践交流会を主催・共催した。 ・教育委員会、ユネスコスクールからの研修要請に応じ、研修・ワークショップを実施した。（対面・オンラインいずれも） <p>https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/</p>

	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	<p>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度ユネスコ活動費補助金による「北陸におけるSDGs達成に向けたeラーニング教材開発及びコミュニティ作りによる教員等の専門能力開発」事業により、ESDを実践する教育委員会や学校教員を対象に、実践編・教育経営編のオンライン教材を開発・活用し、研修機会の創出、主体的に研修できるシステムを構築している。オンラインと対面を組み合わせで教員、学生、研究者、地域関係者等がともに学び合うコミュニティを形成することを目指して、取り組みを継続している。 <p>取り組みはWebにて、継続発信している。https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/</p>
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	<ul style="list-style-type: none"> 実践交流会等への参加を呼びかけるほか、ユネスコスクール、ESD等に関わる問合せに対して回答・資料送付等を行った。 域内首長部局、議員等からの問合せに対し、対面での説明、資料送付等を行った。
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコスクールと地域の企業・団体等との連携支援を行っている。実践事例参照↓ https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 北陸三県域内の県・市町教育委員会と連携し、実践支援、実践交流支援等を継続実施している。 各教育委員会から、ユネスコスクール、SDGs・ESDに関わる取組、研修等についての実施実態を報告いただき、取り纏めを行っている。
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	<ul style="list-style-type: none"> 北陸ESDコンソーシアムWebにおいて、北陸三県でのSDGs・ESD実践事例について、研修等で使用可能な教材の形で提供している。(合計41本) 実践交流会、成果報告会などオンライン型会議・研修について、諸機関の協力を得て広く参加募集を行い、北陸三県外からの参加を得ることができた。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 主催した実践交流会、成果報告会において、県外ユネスコスクール(長野県等)から参加・報告を得ることができた。 金沢大学教員が実践交流先の県外学校において授業研修等を実施した。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。 (例: ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	<ul style="list-style-type: none"> (昨年度に続き)、石川県内の学校とシンガポール等海外学校との交流支援を行った。
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	<ul style="list-style-type: none"> 活動について、Web・講義等を通して知らせている。

	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	・ 共通教育、及び、学校教育学類、教職実践研究科などにおいて、SDGs・ESD に関わる講義を実施している。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	・ 北陸 ESD コンソーシアム成果報告書において、各年度の関わるユネスコスクールの実践事例や研修等についての取り纏め、報告等を行っている。 https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/work/
	4. 自由記述	金沢大学、北陸 ESD コンソーシアム（金沢大学に事務局設置）の活動の具体については、独自の Web サイトにて情報を発信しているので、参照いただきたい。 https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/